

OKAYA ROTARY CLUB WEEKLY No.2295



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／竹村 一幸
- 副会長／小野 仁 中畑 隆一
- 幹事／小口 泰史
- 会報・雑誌・広報委員長／坂井 忠彦

■ 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F

Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939 ・ URL:<http://okayarc.org> ・ E-mail:okayarc@amber.plala.or.jp

■ 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2316 回例会 2006 年（平成 18 年）11 月 14 日（火）

司 会：山岡正邦 ラッキーNo.：No.28 太田博久
点 鐘：竹村一幸 演 奏：明日があるさ、ブルーシャトー
斉 唱：手に手つないで
結 婚 祝：小口成人、藤森睦美、北澤弘、中畑隆一、北村正春、小口俊光

会長挨拶

“表見せ裏も見せて散る紅葉”

教育基本法や憲法改正論を闘わしている政界や拝金主義で日本の将来を見据えていない財界の人達に解ってほしい句です。

私事で久々に東京に行きました。今、東京はオリンピック候補地として注目されていますが、日本で初めての超高層ビルは昭和 43 年に完成した霞ヶ関ビルです。地震国日本では、昭和 38 年まで建築物の高さは 31m に制限されていました。関東大震災時に多くの建物が倒壊する中、その姿をとどめていた上野寛永寺の五重塔をヒントに超高層ビルラッシュが始まりました。

この超高層ビルの増加に伴い電波障害の低減と地上デジタル放送用として新東京タワーが 5 年後に造られます。長年、親しまれてきた「東京タワー」は昭和 33 年当時、世界一のエッフェル塔を抜き 333m で世界一の座につきましたが、新タワーは 610m で、また世界一になります。デザインは建築家の安藤忠雄と彫刻家の澄川喜一、設計は日建設計で事業費は 500 億円ですが、テレビ放送も将来は光ケーブルの IP ネットになる可能性が高く、電波塔としては不要の長物になるかもしれません。

ロータリークラブも社会に不用な団体にならぬよう、心していかねばならないと思います。

幹事報告

次週 11/21 の例会は午後 7 時より山城屋にて、夜間移動例会となります。当日は各テーブルごとで炉辺会議をして頂きますので、よろしくお願ひします。

例会変更 辰野 RC = 11/29(水)特別休会。



卓話 「聖母寮と私」

山野 陽子 様

今日は私の感じた事をお話させていただきます。

私が居ります、社会福祉法人 聖母の会は岡谷から始まりました。養護老人ホーム聖母寮が何処にあるかご存知でしょうか？ 諏訪の大和にあります。オレンジ色の屋根で高速道路からも見えます。お年寄りの方 50名と平和に過ごせますようにと願いながら生活しております。聖母の会の創立は昭和 33 年です。養護老人ホームは社会福祉法人でなければ運営できないので社会福祉法人 聖母の会として何も無い所から立ち上げて造りました。現在は大家族になり、社会福祉法人として関連施設合せて 17 もあります。職員に 17 の施設全て言えるか聞いて見ましたが、言えない人もいます。それほど大きく成長しました。

始まりは、カナダ人のブドロー神父様と当時、岡谷市会議員の花岡様との出会いでした。私は花岡様を存じませんでした。ブドロー神父様の日本を愛して 55 年、この日本での聖教活動を綴った本を見て始めて知りました。その神父様は今は、バチカンに駐在されています。その神父様が日本で宣教師として来日したのが昭和 30 年頃です。東京、鎌倉等を経て上諏訪に幼稚園と教会を建てる為にこちらにいらっしやいました。はじめは住む所も無いので飯田の教会から電車で通っていたらしいのです。東京で岡谷出身の方に出会い、岡谷の自分の持ち家が空いているから使って下さいと言われました。が、長年空いていた家なので大掃除の必要がありました。そんな中で、市会議員の花岡様と知り合い掃除、生活日用品の手配等々をして頂くなどお世話になったり、皆様の暖かい心が嬉しかったと日本で聖教活動を綴った本に書いてありました。

そこから上諏訪で土地探しを始めました。が、外国人が土地を探していると噂が広まり土地の価格が高騰して、とても手が出ませんでした。そこで、岡谷で是非ともという話が出ました、花岡様も一肌脱いでくださり、安く条件の良い土地が提供されたそうです。場所は現在の市役所の前だったと本にはありますが、現在のアピタの前に教会が建てられました。幼稚園も始めはあったと思います。

そして上諏訪の小松市長も良い土地を提供してくださり、現在の日赤付近に幼稚園を建てました。その後、要請があり老人ホームの設立を始めました。そこで社会福祉法人となりました。事業の運営は政府からも補助金を頂ますが、カナダは信仰心が深い国柄で神父様の親戚、友人等々より援助金を頂いたり、日本国内の皆さんからの応援や神父様のご努力で寄付を集めたりして立上げました。神父様のなさったお仕事は素晴らしいと今でも思っております。

社会福祉法人聖母の会はカトリックの隣人愛の精神に基づいて運営されると定款にあります。キリストの愛の精神を以って社会福祉事業を運営していくことが、約束事になっております。イエス様がおっしゃった「私があなた方を愛したようにあなた方も互いに愛し合いなさい、そして隣人を自分のように愛しなさい」の、みことばに則って一生懸命やらせて頂いております。しかしイエス様の愛の精神に則っ

てやっていく事は簡単に出来る事ではありません。

カナダの神父様方を見ていると、愛情が細やかです。誠心誠意つくされます。日本人は意外と冷たい面がりますね。と言われた事がありました。麻生外務大臣がマザーテレサの話を読まれました。愛の反対の言葉は何かと言われ、私は単純に憎しみかと思いましたが、愛の反対語は無関心であると言われました。ハッと思いました。人間にとって最も悲惨な事は病気でもなく、貧乏でもない。無関心。自分がこの世に不必要な人間であると思う事が一番恐ろしい事であると、マザーテレサはおっしゃっているんです。愛する事とは恋人同士の愛、親子の愛、夫婦の愛等々ありますが、愛とは大切にすることだそうです。昔、キリスト教が入って来た時に愛という言葉の説明するのに「ご大切」と説明したそうです。

愛のはたらきは奉仕であり、奉仕は献金でもボランティアでもそうですが、自分にも痛みを与える事が大切と言われます。私達も貧困の人達の為に一食おいしい物を食べないでこれをあげましようと言う事をします。自分にも痛みを感じる気持ちを持って奉仕する事が大事だと思います。愛は結果として平和をもたらします。愛のある所には平和があります。

昨年、亡くなられましたが、元の施設長のメクニコル神父様は何よりもお年寄りの心の平和を大切にされた方でした。着任され30年近く、誠心誠意尽くして下さいました。神父様の良いところは、誰にでも公平、平等でした。平等と言うと例えばコップ一杯の水は皆に一杯と言うのではなく、その人に必要な物、量を差し上げるんです。ですから神父様を訪れた方で満たされないで帰った人はいません。特に弱い人、ご病人への愛は深かったと思います。神父様の力の原点は毎朝どんなに疲れていても4時30分からお祈りをされます。その祈りから力を汲んでいらっしゃるんだと思いました。

メクニコル神父様の着任の時の初めての言葉で、このホームにはお年寄りへの愛が足りません。と言われびっくりしました。こんなに一生懸命やっているつもりでした。何が足りないかと当時は分かりませんでした。神父様の言動を見て、あっそうか、と思う事がありました。社会中には困る人もいらっしゃいます。どうすれば良いかと相談しましたら、その方の一番良い事をしてあげれば良いのでは、貴方が哀れみの心を持ちなさいと言われました。それからはイエス様はこんな時何をおっしゃるか、何をされるか考えます。注意しなくてはいけない時なども神父様はさりげなくお部屋にお呼びになり、誰もいない所で注意するのではなく、私が傍にいて、支えてあげますよ。とさりげなく注意され本人は注意された事で傷つく事はありません。私も今は施設長をさせて頂いていますが、職員等にもどうすれば傷つかずに受け入れてくれるかを考えてやっています。

私もここに来まして、40年を過ぎましたが、その大半をメクニコル神父様と一緒にいられた事を感謝して、神父様がお示しになった愛の証に習って日々を新たに生きて行きたいと思っております。

ニコニコボックス

大橋正明・小口雅弘・小口泰史・尾関秀雄・笠原久平・小松正二・佐藤有司・高木昭好・武井利夫・竹村一幸・濱透・浜俊弘・林裕彦・林靖高・藤森睦美・宮沢由己
矢島進・山岡正邦・山岸邦太郎・吉江信介　　小野陽子シスターを歓迎します。

矢崎宏明　　長野県民球団、おかげさまで出資金も集まり、20日に発足出来る事になりました。

宮坂伸　　カノラソサエティ(友の会)で永井和子さんのCDが出来ました。聴いてください。

太田博久・小野仁・山崎典夫　　急に寒さが厳しくなりましたが、昨日の八ヶ岳の冠雪はとてもきれいでした。

出席報告

会員数51名、出席者37名、出席率72.55%、前々回訂正86.27%

2006-2007年度 RI テーマ

率先しよう

LEAD THE WAY

